



『7月7日は「川の日」です。』
これは、七夕伝説の「天の川」のイメージや季節的に水に親しみやすいことから定められました。
人と川との豊かなふれあいについて、もう一度、見直し、きれいな川を取り戻しましょう。



「川は私たちの財産」 大切な川を守りましょう！

田川の風景

結城市の北東を流れる田川。この流れは、日光市に源を発し、結城市久保田付近で鬼怒川に合流します。田川の水は農業用水などに使われ、秋には小森付近までサケが上ってきます。

市では、年2回夏と冬に田川の水質測定を行っています。表1は小森地内の田川橋付近における(※1)BOD測定値(平成18年度・平成23年度・平成26年度)を表したものです。夏は全ての年度で(※2)環境基準を下回っており、年度ごとに良くなっています。冬は平成23年度に環境基準を超えています。それ以外は下回っています。

以前は工場排水による水質汚濁が問題になっていましたが、法律による規制が進んだことにより、工場排水は良くなつてきています。現在は、家庭から出る生活排水が主な汚染の原因となっています。

河川は私たちの共有財産です。私たちの大切なこの川をいつまでもきれいに保つために、合併処理浄化槽の設置や公共下水道への加入など生活排水対策にご協力をお願いします。

また日常生活において水を汚さない工夫をすることで、大きな効果がありますので、実践してみましょう。

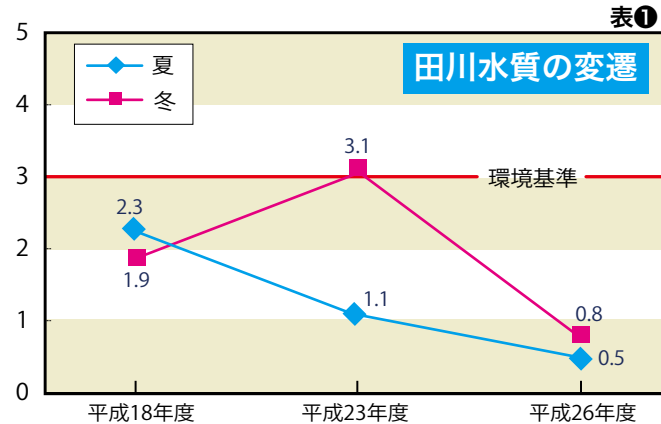
河川にごみを捨てるのも汚染の原因になりますので、ごみのポイ捨てはやめましょう。

★私たちにできる「水質浄化」

- 調味料や油の付いた食器などは、ティッシュなどで拭き取ってから洗います。
- 食用油は流さず、凝固材で固めたり、新聞などに吸わせて捨てましょう。
- 米のとぎ汁は養分があるので、植木の水やりに利用しましょう。
- 生ごみは三角コーナーに入れて、細かい「ミ」を流さないようにしましょう。
- 洗剤やシャンプーは適量を使いましょう。

市生活環境課 ☎34-0410

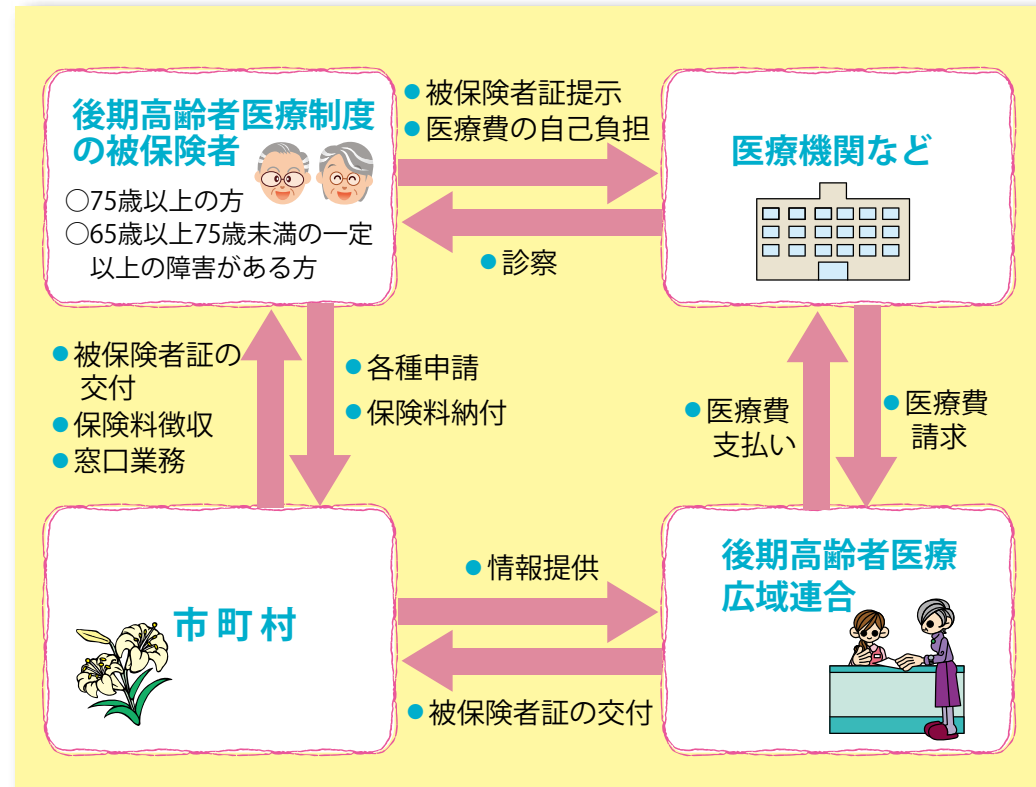
田川の水質測定結果をお知らせします



【用語解説】
(※1) BOD(生物化学的酸素要求量Bio Chemical Oxygen Demand)
水中の有機物が微生物により分解されるときに必要な酸素の量。一般にBODの数値が大ざいほど水が汚れていることを意味します。
(※2) 環境基準……人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、国が定めた基準。水質の他に大気、土壌、騒音の環境基準があります。

後期高齢者医療制度のしくみ

後期高齢者医療制度は、都道府県ごとに設置され、すべての市町村が加入する後期高齢者医療広域連合が保険者として運営します。
市町村は保険料の徴収や保険証の交付、申請の受付けなど窓口業務を行います。



平成27年度の保険料

後期高齢者医療制度の保険料は、介護保険と同様に個人ごとに算定し、定額の均等割額と所得にに応じて計算される所得割額の合計になります。保険料は県内一律で、医療費の動向などを踏まえて2年ごとに見直されます。平成24年度に改定がありました。平成20年度から23年度は、均等割37,400円、所得割7.6%でした。本年度については昨年度同様の保険料率となっています。

皆さんに納めていただく保険料は、公費や現役世代の支援金とともに制度を運営するための大切な財源となります。

世帯(被保険者と世帯主)の総所得金額などの合計額が広域連合の定める基準額を超えない場合、保険料の均等割が軽減されます。ただし、総

均等割額
39,500円



所得割額
(総所得金額等－基礎控除33万円)
×8.00%



1年間の保険料額
(100円未満切り捨て)

所得金額などの合計額が税の申告などにより確認できない場合があります。

また、被用者保険(会社の健康保険)の被扶養者として保険料を負担していなかった方については、保険料は均等割のみとなり、その9割が軽減されます。

保険料は、年金からの差し引き(特別徴収)または市役所から送付される納付書(普通徴収)により個人ごとに納めていただきます。

災害によって住宅に著しい損害を受けるなどして保険料を納めることが困難な方については、保険料が減免になることがあります。(減免は、申請をすれば必ず受けられるものではありません。)



市保険年金課 医療福祉係

☎34-0382

8月1日から保険証(被保険者証)が新しくなります。
新しい保険証は7月下旬までに手元に届くよう郵送します。